

中村耳鼻咽喉科だより

＝予防接種で防げる病気②＝

VOL.25

○インフルエンザ菌
b型（ヒブ）感染症



主にヒブをもっている人のせきやくしゃみなどで感染します。中耳炎や肺炎を起こす場合があります。ヒブが血液中に入ると、敗血症はうけつじょうや細菌性髄膜炎を起こし、かかってしまうと重大で命にかかわる病気です。

＊特徴

原因となるのはヘモフィルス・インフルエンザ菌b型です。かかりやすい年齢は3カ月～5歳の子どもの特に2歳以下が多いです。

□主な症状

感染すると脳を包む髄膜炎、肺などに炎症を起こします。細菌性髄膜炎は、発熱や頭痛・嘔吐など風邪のような症状のあと、急にぐ

ったりしてしまうなど症状が重くなっていき、けいれんや意識消失がみられます。病気を予防するワクチン
ヒブワクチン

○肺炎球菌



肺炎球菌は主に、子どもの鼻やのどに住み着いていて、せきやくしゃみで人へと広がっていきます。中耳炎・副鼻腔炎の他、乳幼児ではときに細菌性髄膜炎・敗血症・肺炎等の重い全身感染症をおこします。

＊特徴

原因となるのは肺炎球菌です。かかりやすい年齢は、免疫機能があまり発達していない5歳未満の子どもの免疫機能が下がっている65歳以上の方です。

□主な症状

大人の場合は、せき・発

熱・たんなど風邪の症状と似ています。そのため「風邪をこじらせたもの」と思われがちです。苦しくて息が浅くなる・呼吸がはい・ぐったりする・食欲がない等の症状が3～4日続いたら肺炎を疑ってください。子どもの場合は、感染すると肺炎だけでなく中耳炎や細菌性髄膜炎等も発症します。細菌性髄膜炎は後遺症も残ることがあります。病気を予防するワクチン
成人用肺炎球菌ワクチン
又は小児用肺炎球菌ワクチン

○結核



現在でも毎年2万人が発症しています。大人から子どもへ感染することもあり、乳幼児がかかると全身性の



結核症や結核性髄膜炎等を起こします。ときに重い後遺症が残ることもあります。

***特徴**

原因となる結核菌が、せきやくしゃみで感染します。しかし、感染しても必ず全員が発症するわけではありません。1〜2年のうちに発症する人はあまり多くなく、その他の人では菌は体の中で長い間眠っている状態になり、免疫力が衰えた時、発症することがあります。

□主な症状

結核菌は肺の中で増えるため、せき・たん・発熱等の風邪のような症状がみられることが多いですが、特に子どもは症状が現れにくく、**全身に及んでしまう重い結核になることもあるので注意が必要です。**

✍️病気を予防するワクチン

BCGワクチン

○水痘すいとう



「水ぼうそう」とも呼ばれている、春先に一番流行する病気です。風しんやおたふくかぜよりもうつりやすく、空気感染します。発熱・水ぶくれを伴う発疹が主な症状で、ひどくなってしまうと入院する場合もあります。

***特徴**

原因となるのは水痘・

帯状疱疹ウイルス

帯状疱疹ウイルスです。かかりやすいのは子どもですが、大人でもしばしばみられます。大人がかかると**症状が重くなる**ことが多い、**病気や薬で抵抗力が低下している人は命を落とす**かもしれません。

□主な症状

突然の発熱と一緒に、全

身に水ぶくれを伴う発疹が現れます。発疹は身体と首のあたりから顔に出やすいです。紅斑こうはん↓水疱すいほう↓膿疱のうほう↓かさぶたの順番に変わっていき、かゆみなども生じる事があります。合併症としては、かゆいため水疱部分をひっかくなどして皮膚の細菌感染を起こすことがあります。

✍️病気を予防するワクチン

水痘ワクチン

ワクチンがある感染症は数が限られています。あらかじめ予防できるものはしっかりして感染症から身を守りましょう。

